

# (参考)施策・指標(ロジックモデル)

番号	① 目指す姿 (分野アウトカム)
----	---------------------

番号	② 施策の方向性 (中間アウトカム)
----	-----------------------

番号	③ 数値目標 (アウトプット指標)
----	----------------------

番号	④ 具体施策
----	--------

1	分野アウトカム	指標
1	がんによる死亡者の減少	75歳未満がん年齢調整死亡率

1	中間アウトカム	指標
1	がんの予防	がん罹患率
		がんの早期発見率(限局割合)

2	中間アウトカム	指標
1	がん医療の充実	5年相対生存率

1	数値目標
1	20歳以上の者の喫煙率
2	20歳未満の者、妊産婦の喫煙する者の割合
3	受動喫煙を経験した者の割合
4	医療機関・行政機関における施設内禁煙の実施
5	1日の野菜摂取量
6	1日の食塩摂取量
7	生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている者の割合
8	日常生活における1日の歩数
9	運動習慣者(意識的に運動する者)の割合
10	がん予防教育の年間実施回数
11	がん検診受診率の向上(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)
12	市町村が実施するがん検診受診率
13	市町村が実施するがん検診における初回受診者の増加
14	精密検診受診率の向上(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)

2	数値目標
1	がん患者が納得して治療を受けた割合
2	がん患者が治療スケジュールの見直しに関する情報が得られた割合
3	手術療法の専門性の高い人材を適正に配置
4	放射線療法の専門性の高い人材を適正に配置
5	薬物療法・免疫療法の専門性の高い人材を適正に配置
6	レジメンを公開していると回答した拠点病院
7	がん患者が納得した治療を受けた割合(再掲)
8	がん患者とその家族が痛みやつらさを感じることなく過ごしているか
9	拠点病院でがん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了者数
10	拠点病院で緩和ケアの専門性の高い人材を配置
11	在宅看取り率
12	在宅療養支援診療所
13	在宅医療後方支援病院数
14	24時間体制をとっている訪問看護ステーション数
15	がん拠点病院及び準拠する病院における5大がん(胃・肺・大腸・肝臓・乳)に関する地域連携クリティカルパスの適用数を増やす。
16	妊孕性温存に関する情報が提供された40歳未満のがん患者の割合
17	全国がん登録において、精度の高いがん登録を実施する。(DOI値)

がん予防(1次予防)・がん教育	
1	具体施策
1	がん罹患(がん予防)のための生活習慣(喫煙、食生活、運動等)の改善に向けた取組
2	喫煙に関する知識の普及啓発
3	受動喫煙を防止するための取組
4	食生活改善や運動習慣を定着させるための取組
5	発がんに影響するウイルスや細菌の正しい知識の普及啓発
6	HPVワクチン接種の推奨
7	教育委員会と連携したがん教育の実施
8	関係機関と連携し、がんに関する正しい知識の普及啓発

がんの早期発見(2次予防)	
2	具体施策
1	関係機関と連携し、がん検診の普及啓発
2	休日がん検診の実施など、受診しやすいがん検診の環境整備
3	個別受診勧奨など受診率向上の強化の取組
4	胃がん検診や肝炎ウイルス検査の受診率向上に向けた取組
5	精密検査の受診率向上を含めて、早期発見・早期治療の取組

がんの手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の充実並びにがんのゲノム医療	
3	具体施策
1	がん診療連携拠点病院において、手術、放射線、薬物、免疫の各療法の専門性の高い人材を適正に配置
2	がん治療における薬物療法・免疫療法と放射線治療については、専門的医療従事者の育成支援
3	放射線治療施設の集約化・役割分担の推進
4	多職種チーム医療の推進
5	がんゲノム医療連携病院によるゲノム医療の円滑な提供

チーム医療の推進	
4	具体施策
1	専門的な知識を有する複数の医師や多職種によるカンファレンスを開催

支持療法の推進	
5	具体施策
1	ガイドラインの各医療機関での確実な実施

がんと診断された時からの緩和ケアの推進	
6	具体施策
1	患者とその家族が抱える様々な苦痛に対する適切な緩和ケアを推進
2	緩和ケア研修の受講を推進

医療機関の連携体制づくり	
7	具体施策
1	住み慣れた家庭や地域で療養ができる在宅医療の推進
2	在宅医療提供体制の整備

3	中間アウトカム	指標
1	がんとの共生	自分らしい生活を送れていると感じるがん患者の割合

3	数値目標
1	がん相談支援センターの認知度
2	拠点病院のがん相談支援センターにおける相談体制の整備臨床心理士数
3	国立がん研究センターの研修又はがん診療連携協議会が実施する研修を修了した相談員の配置状況
4	国立がん研究センターが認定する「認定がん専門相談員」の資格を有する相談員の増
5	国立がん研究センターが認定する「認定がん相談支援センター」の県内設置数
6	初発がん患者のうち必要な治療等の情報が得られた患者の割合
7	がん治療後に復職した人の割合
8	就労とがん治療を両立させるために勤務先から支援を得られたと回答したがん患者の割合
9	がん検診推進パートナー従業員にとって、がん療養や家族看護しやすい環境に配慮する企業数の増加
10	がん経験を理由に不利益な扱いを受けることのない環境に配慮する企業数の増加
11	治療中に社会からがんに対する偏見を感じたがん患者の割合
12	拠点病院のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数
13	拠点病院のがん相談支援センターにおける両立支援コーディネーター研修を受講した相談員数

希少がん、難治性がん	
8	具体施策
1	専門的医療機関に確実につなげるための情報提供体制の構築

ライフステージに応じたがん対策(小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん)	
9	具体施策
1	小児がん患者に対する適切な医療の提供を推進
2	AYA世代の多様なニーズに応じた情報提供や、相談支援等が実施できる体制を整備
3	AYA世代のがん患者に対して、妊孕性温存等に要する経費の助成
4	AYA世代のがん患者に対する助成制度等についての普及啓発
5	高齢のがん患者に対する意思決定支援の体制整備や、地域の医療機関及び介護事業所等との連携を推進
6	高齢者のがんに関して、併存症の治療との両立が図れるよう、関係する診療科と連携する体制を確保

病理診断、リハビリテーション	
10	具体施策
1	質の高い病理診断が行える体制の整備
2	効果的・継続的ながんのリハビリテーション提供体制の整備

がん登録	
11	具体施策
1	全国がん登録の集計データを分かりやすく公開
2	現状分析や対策の評価にがん登録の各種データを活用

相談支援、情報提供	
12	具体施策
1	がん患者や地域住民等からの相談に対応できる体制整備
2	相談支援に従事する相談員の人材育成
3	がん相談支援センターへの訪問を促進
4	ピア・サポート活動の推進

就労を含めたがん患者が安心して暮らせる社会づくり	
13	具体施策
1	アビランスケアの充実に向けた取組
2	医療用ウィッグ等の購入費助成
3	保険者と連携した治療と仕事に関する理解促進の取組
4	がん労働相談ワンストップサポートによるがん相談と労働相談同時の提供
5	がん検診受診推進パートナー企業認定制度の推進
6	両立支援コーディネーター研修を受講した相談の配置による、就労支援の充実